



【発行人】 岩村義雄 〈携帯 070-5045-7127〉
 【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
 Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
 E-mail:kiso@mbe.nifty.com
 【石巻支所】 阿部とよ子
 〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
 【熊本支部】 大島健二郎
 〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
 【千葉支部】 嶋田博信
 〒294-0234 千葉県館山市布良303
 年4回 2月、5月、8月、11月
 購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

佐賀訪問2年前以上の水害

2021年8月14日（土）、2年前
(2019年8月27日)の災害以来、

親しくなっている大町町の千綿盛彦
さんに電話連絡がとれないので、す
ぐに神戸国際支継機構は神戸から向
かつた。



六角川氾濫 順天堂病院近く 2021年8月15日

神戸でも確認できた情報による
と、契約している各戸に電波で防災
行政無線で聞いた「矢筈ダム放流」。
の恐れがある地区のかたは身を守る
行動をお願いします。」、と4時55分
（午前6時）。国交省によると、推定
にエリアメール情報を流した。サガ
テレビも矢筈ダム放流のニュース
はないが、「ダムと伐」で

「罪と罰」（ドストエ
フスキイ「1821」
1881」の代表作）で

神戸でも確認できた情報による
と、契約している各戸に電波で防災
行政無線で聞いた「矢筈ダム放流」。
の恐れがある地区のかたは身を守る
行動をお願いします。」、と4時55分
（午前6時）。国交省によると、推定
にエリアメール情報を流した。サガ
テレビも矢筈ダム放流のニュース
はないが、「ダムと伐」で

長のところへも賀川豊彦
が始めたコーブ、福祉の
パイオニアである今井鎮
雄（元神戸YMCA総主
事）によってできた神
戸市の社会福祉協議会、
フードバンクや、「耕支
縁」などからの支継物資
や救援金をもつていっ
た。鵜池さんは「浸水ラ
インも高さ約2メートル
に水の跡があった」、と
話してくれた。

2年前の比じゃない」と。
256戸の中島地区の鵜池弘文区
長のところへも賀川豊彦
が始めたコーブ、福祉の
パイオニアである今井鎮
雄（元神戸YMCA総主
事）によってできた神
戸市の社会福祉協議会、
フードバンクや、「耕支
縁」などからの支継物資
や救援金をもつていっ
た。鵜池さんは「浸水ラ
インも高さ約2メートル
に水の跡があった」、と
話してくれた。

JR大町駅に隣接していた。「もう
2年前の比じゃない」と。
256戸の中島地区の鵜池弘文区
長のところへも賀川豊彦
が始めたコーブ、福祉の
パイオニアである今井鎮
雄（元神戸YMCA総主
事）によってできた神
戸市の社会福祉協議会、
フードバンクや、「耕支
縁」などからの支継物資
や救援金をもつていっ
た。鵜池さんは「浸水ラ
インも高さ約2メートル
に水の跡があった」、と
話してくれた。

約5800ヘクタールが浸水。2年
前の水害では孤立した大町町福母
(ふくも)の順天堂病院は再び孤立。
床上25センチだったが、今回は病棟
内1メートル近く浸水。15日夜まで
水面に孤立していた。患者らの健康
状態に影響はなかつた。

一級河川である六角川の氾濫は容
易に起こりそうだという不安が的中
した。2年前の水害で親しくなった
64戸の下渴の千綿盛彦区長をまず訪
問した。区長の家は今回の最大の被
害地と報道されている佐賀県大町の
JR大町駅に隣接していた。「もう
2年前の比じゃない」と。
256戸の中島地区の鵜池弘文区
長のところへも賀川豊彦
が始めたコーブ、福祉の
パイオニアである今井鎮
雄（元神戸YMCA総主
事）によってできた神
戸市の社会福祉協議会、
フードバンクや、「耕支
縁」などからの支継物資
や救援金をもつていっ
た。鵜池さんは「浸水ラ
インも高さ約2メートル
に水の跡があった」、と
話してくれた。

大町町の独居の今村佳代子さん宅
に行くよう依頼され、現在も継続
中である。
石流は「人災」である。
大町町の独居の今村佳代子さん宅
に行くよう依頼され、現在も継続
中である。



矢筈ダム放流 2021年8月15日朝
岩村義雄理事長、管理事務所を訪問

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151 (代表)

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



『石巻日日新聞』(2021年10月24日付)

足踏み式で脱穀体験

長浜幼稚園
「お米が飛んだ」と歓喜

人力の脱穀機で丁寧にもみを外した

園児たちと稻刈り＆脱穀 代表 村上裕隆

第123次東北ボランティア 脱穀 2021年10月17日～20日

南房総布良で漁ボランティアを経由した。先月稻刈りをした田んぼの天日干しの「復幸米」を園児たちと脱穀。大正時代に全国に普及した足踏み「稻こき機」。現在、ベトナムやネパールでも同じものが用いられている。亀山繁さん、津田新一さんご夫妻が「稻架掛け」の竹や稻干し台の木を預かってくださつていて。地域のみなさんのご協力があればこそ、10回目の脱穀ができていた。いつもなら収穫祭を11月に行い、独居の高齢者のところへ届ける。会場は、イノシシ肉汁、生のり汁などと共に園児たちがおにぎりを満喫した。今年は、コロナ禍のため自宅で米1合を持ち帰り自分たちの収穫した稻を食べる。



『河北新報』(2021年9月25日付)

宮城県石巻市の10回目の稻刈りに続き、昨年熊本県球磨川水害で被害を受けた相良で園児たちと、1回目のトロトロ層づくり、田植え、稻刈りを楽しんだ。近年、見かけない「稻架掛け」で天日干しの光景である。太陽によるミネラルをいっぱい吸収した、一切、機械によらない農法。今や食糧の自給率は先進国で最低だ。農・林・漁の担い手は平均70歳に近く、引退する人も多い。私たちは被災地の復興の旗印として、「田・山・湾の復活」を掲げて、農・林・漁に取り組んでいる。東北ボランティアの初日は、千葉県南房総布良で漁ボランティアとして沖浦宏隆さんの伊勢エビ漁の網修理に携わった。



『牡鹿新聞』(2021年10月25日付)



2020年9月7日 相良教育委員会で岩村理事長と初対面。

略歴 1941年熊本県球磨郡相良村生。1949年九州大学医学部卒業。同年6月医師免許。九大医学部付属病院で研修、熊本大学原田正純師から水俣病と出会い。1971年緒方医院を継承、相良村医。学校医。1979年大腸四頭筋短縮症社会問題となり、自主検診班に参加。1985年社会法人ペールル会、特別養護老人ホーム川辺園開園。1998～2012年熊本県医師会理事。2002年「清流くまがわ・川辺川を未来に手渡す流域市民の会」会長。共同代表。2019年「日本医師会赤ひげ大賞」受賞。2020年緒方医院名誉院長。

初代執筆者、神戸国際支線機構の石巻市支所長である故阿部捷一さん。2代目は、2017年刊誌「支線」20号から37号まで連載してくださった阿部和夫さん。3代目は次号からの執筆者、緒方俊一郎さんです(相良村教育長)。

若宮丸乗組員十六名の内、帰国出来たのは四人だけであり、残り十二人はロシアの土となりました。三人は仏教徒のまま、九人はロシア正教徒として彼等の生き方、行動から皆さんはどんなことを感じ取られたでしょうか。

一方ロシアに残った人の内、善六がロシア大使団の一員として日本にやつて来ます。文化十一年後(一八一四)七月二十九日に七十歳で亡くなり、最年後(一八一四)七月二十九日に七十歳で亡くなりました。四月十二日に六十七歳で亡くなりました。恐らくロシアの地を踏んだ二人の証言は貴重なものだつたのでしょう。

一方ロシアに残った人の内、善六がロシア大使団の一員として日本にやつて来ます。文化十一年後(一八一四)七月二十九日に七十歳で亡くなり、最年後(一八一四)七月二十九日に七十歳で亡くなりました。四月十二日に六十七歳で亡くなりました。恐らくロシアの地を踏んだ二人の証言は貴重なものだつたのでしょう。

初めて地球を一回りした日本人
・石巻若宮丸物語 ⑯最終回 阿部 和夫



代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区練3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



「ヒューマニティ・ファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所

津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区練3丁目8番12号



事務局便り

「田・山・湾の復活」（その十七）

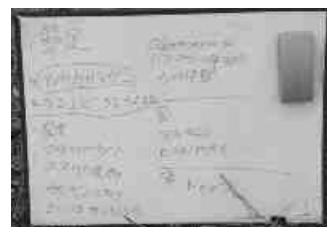
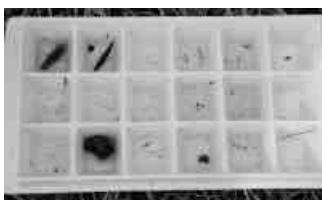
私たちは被災地で「復幸米」に取り組み、10年を刻んだ。2011年に、メルトダウン（炉心溶融）により、宮城県にも放射能汚染（セシウム137）が風雨によって飛来した⁵⁴⁾。8月から農法するにあたり、NPO田んぼや東北大學生研究者の協力を得て、田んぼに生息する水中生物など5800種類と言われる自然界の生き物がセシウムにどんな影響を与えるか検証したかった。セシウムは半減期といつて⁵⁵⁾シウムの半減期を促進すると誤解していた。水中生物、ひまわり、きのこなどでは完全には消滅しないことが判明した。

「ホット・パーティクル」（不溶性放射性微粒子）は、呼吸、口、傷口などから人間の身体に侵入する。

小さな金属微粒子である⁵⁶⁾。「消えてなくなる粒子なのだ」と研究者、医学者が小児性甲状腺ガンなどとの因果関係を裁判所で証言した。しかし、2001年3月1日、福島地方地裁は黙殺した。法の番人が科学的知見を無視した。被告である国や県を擁護した。

ホット・パーティクルも新型コロナウィルスも目に見えない。外出にはマスク着用をしていないと、「自粛警察」と呼ばれる市民からの攻撃対象となろう。しかし、道ばたの砂埃の放射性物質を吸わないようにマスクをすると、「風評被害を招く」としてフクシマでは注意される。コロナ禍による感染はすぐにわかる。一方、ホット・パーティクルの吸入による健康影響が出るのは数年後、数10年後である。

「田・山・湾の復活」の「復活」とは、「復興」が含まれる。田中正造〔1841-1913〕は、「天災にあらざれば、回復する事を期して去らず」と言った⁵⁸⁾。人災ならば、大地に生命を戻すことが人間の責任であることを促している。したがって、心の復興だけでなく、治水、地勢、隣人愛が求められる。「隣人」とは、人間だけでなく、無機物、動物、植物、否、地球上のすべてと言えよう。無機物にホット・パーティクルが含まれることは言うまでもない。



第6次東北ボランティア（2011年10月6日）
向井康夫博士は田んぼの生き物検査。

編集後記

相棒の田村晋作さんと農ボランティアに仕える日程を決めるよう、岩村義雄理事長から毎回言われる。すると断れないこちらの心理をよく読んでおられる。週一回の炊き出しの責任者とちがって、路上生活の身にとり、4日も神戸を留守にするには覚悟がいる。仲間たちが心配するからである。男性はコロナ禍になってから、車中泊。2台で向かった。本田寿久事務局長や北村恭男さんの運転により、現地に大島健二郎さんたちより早く先に到着。田村さんは田舎育ちだから、天日干し、稻をしづる「むすで」、家具の修理など器用だから、助かる。現地の人たちが農作業の合間に差し入れをくださる。むしろこちらが感謝な気持ちで満たされている。

炊き出し班長 堀 浩一

54) 福島第一原発事故で放出された放射性物質のうち、農作物や水道水で問題とされている元素は、放射性ヨウ素(I)と放射性セシウム(Cs)。セシウム137の方が問題となる理由は、放射性ヨウ素と比べて寿命が長く、自然に崩壊して半分に減るまでの期間(半減期)が30年と長い。「一般社団法人日本土壤肥料学会」。

半減期とは、放射能(放射性物質の量)が半分になる期間という意味、セシウム137が約30年、セシウム134が約2年の半減期。ただし、半減期が経過しても放射能がなくなってしまう。放射能とのたたかいを長期化させる要因となっている。

ホタルで例えると、ホタル自身が放射性物質、ホタルから出る光が放射線、ホタルが光を出す性質(能力)が放射能と考えるとわかりやすい。

55) 抽稿「第6次東北ボランティア報告」(神戸国際支縁機構2011年)。ホット・パーティクルは汗や尿によって体外に出ていかず、沈殿するから危険な放射性粒子。

56) 抽論「女川原発再稼働は科学への裏切り」(神戸新聞会館2020年)。

57) 「子ども脱被ばく裁判」の会今野寿美雄代表は、「内部被ばくのリスク」を訴える(「阪神宗教者の会」にて、『神戸新聞』2020年10月27日付)。

58)『田中正造全集』第11巻(田中正造全集編纂会 岩波書店1979年456頁)。

救援金、維持会費ご協力を感謝します。

(敬称略)

2021年7月16日～10月16日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、鶴崎祥子、丹野恵子(宮城県石巻市)、柴田珠江(2)、小島千鶴、大野祐弥、KISO牧場、中山喜代子、神戸聖福教会、李敬淑(4)、合同会社Bless泉真姫(4)、柳澤豊、阪井健二(土生神社・矢代寸神社宮司)、永野由美子、本田すみ代(2)、瀧木孝江、保田薰、中道澄春、飯塚和彦、沖浦宏隆(千葉県布良)、古本純一郎&佳世子、森田美芽、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、朝倉龍男(3)、佐々木美和(3)、千田豊穂(宮城県石巻市光厳寺住職)、河内常男、宮坂信章、兵頭晴喜、岡部徹、鄭恵姫、宮本博美、森川八郎、石井泰代、東原良学(2)、太田登志(4)、木村義治(宮城県石巻市)、岩崎謙、飛田雄一、藤野知香、高橋秀典、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、栗原健(宮城県仙台市)、藤本新作、金恒勝、横田早紀江、酒巻美和子、の野慶子、西田祥子、加藤恵子、宝塚栄光教会、岩間洋&千恵子、大河戸章代、井上有希、山下恵美子、豊原大成[全国仏教会前理事長]、藤原加寿子、桜井ジュンコ、津久井進、林ナオ、湯川胃腸病院、神戸YMCA井上真二、土手ゆき子&朋、小笠原貞夫、笠原美恵子、武智務、今井奈緒子(宮城県仙台市)、廣森勝久、野崎和子、袴田清子、千葉幸一(宮城県石巻市)、廣瀬素子(2)、莉部眞砂子、古川直子、和子、高祐二、「小さくされた人々のための福音」講座(2)、原浩司(2)、緒方俊一郎(熊本県相良)、東原良学、村上安世、樋口進、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、大島健二郎(2)、有井英俊、荒木幸子、佐藤紀子(宮城県多賀市)、野口裕莉、水谷弥生、中山圭子(2)、後藤由美子(光円寺僧侶)、太田妙子、福井啓子、影近有紀、石巻地区森林組合、尾関マユミ、藤丸秀淨(法専寺住職)、野田健二、上越北陸アイクリニック、矢口裕基、池田裕子、大田正紀、今井祝雄、千葉博男(前宮城県神社庁序長)、徳留由美、池口美喜子、川口陽子、ホームチャペル・キリストの花嫁、袴田康裕、原田洋子、弘前学院聖愛中学高等学校、森本拳士朗、藤井真代、『AIC』(ローマ・カトリック教会)、匿名

817,249円

支縁物資の提供者 敬称略

コープこうべ、フードバンク関西、「耕す支縁」、梅澤昌子、山内満千子(熊本県相良)、丸目寧(熊本県相良)、緒方眞喜代(熊本県相良)、緒方礼子(熊本県相良)、野田健二、山口光、村上安世、梶原みどり(福岡県松浦)、千綿盛彦夫妻(佐賀県大町町)、袴田清子、山本稔、東垂水ルーテル教会、コープの中塚伸治、鳥飼酒造から鳥飼アイス、(株)チュチュアンナから靴下、丹野恵子(宮城県石巻市)、齋藤正美(石巻市長)、丹野典彦(宮城県石巻市)、新堀隆義&美恵子夫妻(南房総市)、神戸市社会福祉協議会。



今年も神戸国際支縁機構は「石巻わんぱく相撲選手権大会」の協賛。